## 高地 10 周年经现式忠守 3 鳫 31 100

自然環境に恵まれています。 大な耕土、豊富な水資源など、 の長さを持ち、豊かな森や、広 76平方書は。東西に約8音点 合併して誕生しました。総面積町、田尻町の近隣1市6町が 日に、古川市、松山町、三本木大崎市は、平成18年3月31 は県内で2番目となる796・ 鹿島台町、岩出山町、鳴子 れて

大崎市は、平成18年

携や地域課題解決への支援を のまちづくりを行ってきまし 市政を進め、皆さんと共に新市 ています。 通し、皆さんとの協働を推進し た。現在も地域自治組織との連 発足当初から市民参加型の

> りましたが、そのたび、皆さん は県内最大規模の被災地とな 部最大規模、関東・東北豪雨で 新たなまちづくりにも生かさ 越えてきました。この経験は、 と共に立ち向かい、危機を乗り ました。東日本大震災では内陸 くつもの大きな災害が発生 また、この10年の間には、い います。

現に向けて、今後も皆さんと共 ます。「笑顔あふれる大崎」の実 に、着実に歩みを進めていきま たなチャレンジが始まって 大崎市の地方創生に向けた新 今、10年とい う節目を迎え、





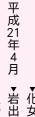












8月

9 月 ▼大崎南学校給食センター開設

平成22年4月

市長・市議会議員一般選挙 (市議会議員定数34人)

▼市内で1

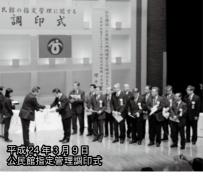
年間の交通死亡事故ゼロを達成

平成24年1 3 月

▼古川駅市民窓口連絡所を廃止







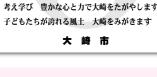


ル条約湿地登録後の化女沼









大崎市民憲章

恵みの森,奥羽山脈から湧き指る水は,大地を潤し文化の花をさかせます。 いにしえより伝統ある豊饒の地は、創造性に富む地域の力をはぐくみます。

> 一人ひとりを尊重し ともに手をとり行動します 生き生きと 笑顔あふれる大崎をつくります

私たちは ここに生きる大崎市民です



▼大崎市総合計画【改訂版】 を策定 市内4地区公民館に指定管理者制度を導入 敷玉地区公民館に指定管理者制度を導入

3 月

▼大崎市古川 カント エレベーターを設置

▼大崎市話し合う協働のまちづくり条例を施行

户

▼市長・市議会議員一般選挙 (市議会議員定数30人)

▼中山小学校と鳴子小学校の統合

▼広報おおさき第1 ▼横綱白鵬関より大崎市民病院 00号を発行

7 6 月 月

・大崎市民病院本院が古川

東北自動車道 長者原スマ トインター チェンジが

3 月 月 ▼あ・ら・伊達な道の駅が重点「道の駅」に選定 ▼旧有備館及び庭園主屋・附属屋等復旧工事が完了

平成27年1

▼大崎市夜間急患センター 地域大幡行政区を大幡南、 -を開設 大幡東、 大幡西行

4 月

▼大崎市生活困窮者自立相談支援センタ

\*平成27年9月関東・ 東北豪雨が発生

▶おおさき移住支援センター 大崎婚活支援センタ

使)が日本人女子初の世界王座3階級制覇▼女子プロボクシング藤岡奈穂子選手(おキ

▼鹿島台駅自由通路が開通

11 月

階級制覇後の

## 大崎市10年の主な歩み

## 平成18年3月 ▼大崎市誕生

田尻町の1市6町が合併松山町、三本木町、鹿島4 鹿島台町、 岩出山町

▼広報おおさき第1号を発行

▼古川南中学校を新設開校 :長・市議会議員一般選挙(市議会議員定数53人:渡中学校と鬼首中学校と鳴子中学校3校の統合:丁厚豆は オネデー

▼大崎市長初登庁

市長・市議会議員一般選挙

人

平成19年6月 ▼鳴子温泉郷が青春18 きっぷで行く温泉番付で東の

▼大崎市総合計画を策定

平成20年4月 12 月 育て支援施設大崎市子育てわく

▼三本木子育て支援総合施設ひまわり園を開園

▶岩手・宮城内陸地震が発生 R農業委員会が誕生 東部農業委員会と西部農業委員会を統合し、 大崎

7 月

・大相撲大崎場所が開催

▼大崎口腔保健センター を開設

10 月 8月

▼岩出山小学校川北分校を岩出山小学▼化女沼がラムサール条約湿地に登録 小学校に統合

東北自動車道 三本木スマ インター チェンジが

▼鹿島台子育て支援総合施設なかよし園を開園 ▼市民課の日曜窓口業務を開始

東日本大震災が発生

平成23年

▼古川地域米倉行政区を米倉、 ▼大崎市水道お客様センター - を設置 穂波行政区に分割

▼市内13地区公民館に指定管理者制度を導入▼大崎市民病院岩出山分院が移転

平成25年2月

10 月

.渡地区の出張所を廃止

▼大崎市イメージキャラクターを「パタ崎さん」と命名

▼古川第一小学校の新校舎が完成(震災による復旧)

平成26年1

9 月 6 月 5 月

▼古川東中学校の新校舎が完成(震災による復旧)▼新品種米「東北194号」の愛称を「ささ結」と命名

町、涌谷町、美▼大崎定住自立 美里町)の図書館の相互利用開始立圏協定事業で大崎圏域(色麻町、 へ優勝額が寄贈 加美

.地域穂波地区に移転

を開設

勝回数35回を達成▼横綱白鵬関(おおさき宝大使)が前人未到の通算優

(おおさき宝大

▼大崎市デジタル行政防災無線の試験運用開始▼国道108号花渕山バイパスが開通

3 広報 おおてき 2016-3